

Wa!

公立芽室病院

April 2023
Vol.5

公立芽室病院コミュニケーションペーパー [わ!]

特集

2023春! 芽室病院の抱負

6 トピックス／すこやか健診・特定健診のご案内

7 こんにちはWa! 看護科です／

栄養士の病院食おススメ一品【ロールチキンのワイン焼煮】

8 外来診療のご案内

2023春! 芽室病院の抱負

3年間に及ぶ新型コロナ感染拡大もようやく落ち着いてきました。公立芽室病院を取り巻く環境は依然、厳しいものがありますが、新年度を迎えるにあたり、院長・副院長をはじめ各診療科などトップ層の抱負をお伝えします。当院は、全職員一丸となり「地域医療の砦として町民の皆様の健康・医療・介護・在宅を支える役割を果たし続ける病院」を目指します。



令和5年度を迎えて

院長 研谷 智

公立芽室病院の経営理念は、「地域医療の砦として、町民の皆様の健康・医療・介護・在宅を支える役割を果たし続ける病院となる。」です。

さて、芽室町はこの3月に「公立芽室病院経営強化プラン」を策定しました。プランは令和5年から令和9年までを対象とし、公立芽室病院の果たす役割を定めていますので簡単に紹介します。

- (1)地域医療構想を踏まえ、専門性の高い高度医療は大規模病院に協力をいただき、当院では一般急性期～回復期～慢性期の病棟機能に対応し、さらに退院支援、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅医療にも対応していく。新興感染症に対応できる体制、機能も有していく。
- (2)地域包括ケアシステムの医療における中核施設として「かかりつけ医」の機能を充実させる。地域包括ケア病床の拡充、他医療機関や介護老人福祉施設等との連携、在宅医療の推進及び医療、介護、保健、福祉等の連携を促進する。
- (3)地域住民及び利用者に、これからの当院の役割・機能について理解してもらう取組と活動を推進する。その他には、医師、看護師等の確保、経営形態等についても触れています。

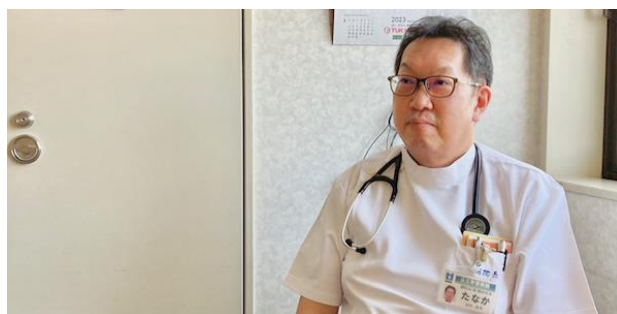
我々は、この方向性に則りながら病院の改革を進め、経営理念の実現に向けて努力してまいります。なお、このプランは当院のHPに載せていますので、ぜひ、ご覧いただきたいと思います。

また、JALの再生で有名な稲盛和夫氏の「アメーバ経営」を医療経営に応用した「部門別原価管理システム」を導入し、全職員が経営に参画し、ボトムアップ方式によって組織の活性化・収支改善につなげてまいります。

今後は「できるだけ多くの町民の皆様に選んでいただける病院にならなくてはならない」と思っています。

経営理念を忘れずに、職員一同団結して頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

公立芽室病院経営強化プラン→



総合診療科 令和5年度の抱負

副院長 田中俊英

令和4年度から、内科・総合診療科医を新たに迎え総勢7名となり「内科・総合診療科」から「総合診療科」として再出発し1年が過ぎます。令和4年度末で松田卓也先生が退職され、令和5年度からは6名で診療していきます。当院の総合診療科には、さまざまな経歴を持つ医師が在籍しており、循環器科、消化器科、外科等の専門領域を持つ医師と、総合診療を専門とする医師が協力して診療に当たっています。

「総合診療」とは、まだなじみの浅い方も多いと思います。簡単に言うと「身近にあって何でも相談に乗る総合的な医療」のことです。臓器別疾患の概念にとらわれず、全身をトータルで診療し治療していきます。患者さんご本人やご家族の思い、家族背景や社会背景、価値観に寄り添いながら総合的な視点で診療しています。症状や疾患、重症度や緊急性に応じて、各科専門医、十勝管内や札幌・旭川などの医療機関、各種専門職と連携して対応しています。

当科の診療の柱としては、外来診療、入院診療はもちろんですが、透析診療、訪問診療、健康診断業務や予防接種などの予防医学、地域の医療・介護・福祉・保健との連携などがあります。特別養護老人ホームけいせい苑と協力し、同苑での看取りも行っています。

当面の課題は、訪問診療の充実となります。令和4年度の実績は、月平均48件の訪問診療、在宅看取りは21名でした。今後の医療のニーズとして、高齢化により通院が困難になってくる方や、入院ではなく最後まで自宅で過ごしたい方などの増加が予測されています。医療を求める場が病院から地域や自宅にも広がるため、医療を提供する場も病院から地域や自宅へ広げなければなりません。そして、これらのニーズに対応するために訪問診療と合わせて訪問看護、訪問リハビリの充実が課題となります。

芽室病院全体の課題として、診療の軸となる当科としてもしっかり対応し、地域住民の方々にお役に立てるよう努めていきます。



抱負～自分をアップデート
整形外科診療部長 幅口竜也

公立芽室病院に勤務して約20年以上が経ちました。これまで私が仕事を続けてこられたのも周りの皆さんに支えられ、助けていただいたおかげであります。この場を借りて心から感謝申し上げます。私が20年勤めてきて思うことは、さまざまなことが「変化してきた」ということです。自分自身も20年で中身も外見も変わりましたし、私の周りの環境や私を支えてくれた方々もだんだんと変わり、全てが変化していることに気付かされました。この変化する状況にいかに対応していくか、自分自身がいかに進化していくかを考えることが大切であると思いました。

自然界でも変化に対応できない生命は淘汰されてしまいます。つまり様々な変化に対応できるように自分自身をアップデートしていかなければいけないと思いますし、いかにアップデートしていくかが今後の私の課題であり、抱負でもあります。

私自身も体力的には年齢とともに「衰えていく」という変化を考えなければなりませんし、だからといって今のままの状況を維持しようとする逆に進退してしまうのではないかと思います。ですから少しでも現状を改善し、自分を進化させていくことを考えていかなければ、維持さえもままならないのではないかと考えます。ではどのようにアップデートするのが望ましいのでしょうか。人生の中でアップデートしてはいけないことはたくさんあります。

仕事のスキルを上げることや人格の向上を目指すことも大事なことでと思います。しかし、変化は少しずつであって、急には良くなることも分かっています。ですから、私の抱負としては「今日の自分は昨日の自分より、少しでも良くなろう」「昨日より今日、仕事が上手くいくように努力しよう」ということです。このように一步一步、進化していくことが大切だと思います。

周りの人に感謝しながら、自分自身がアップデートできるように頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願いします。



令和5年度の抱負
眼科診療部長 大西通広

広報委員会より今年度の抱負をと言われましたが、果て困った……。診療に対して夢や希望は色々ありますが、現況を踏まえると”肅々とこれまでどおりに診療をこなすこと”でしょうか。

例えば白内障手術を希望する患者さんが来院されたら、まず視力を測定、ご自身の眼鏡があればその視力も測定、それと眼圧や眼底検査をします。緑内障や網膜に異常がなければ手術の検討をしますが、眼鏡度数の変更で対応可能なら、先ず眼鏡の装用をお勧めします。白内障の進行で近視や乱視が変化することがあるからです。70代以下で多焦点眼内レンズが適応と思われる場合、ご希望があれば対応できる施設に紹介します。過去の外傷等により水晶体落下などの危険が高い時には帯広協会病院などに紹介しています。

また涙目の治療で涙嚢鼻腔吻合術が必要な場合ですが、この手術は涙嚢と鼻腔の間にある骨を削り涙の通路を別に作る手術で、二種類の術式があります。1つは鼻外法といい、顔(目と鼻の間の皮膚)を約2cm切開し骨を削る方法です。もう1つは鼻の中にドリルを入れ、内側から骨を削る方法で顔には切開を加えません。各々について説明し後者の鼻内法を希望すれば、他院に紹介しています。特に女性は、ほぼ後者を選択されます。

検査も同様です。糖尿病網膜症などでレーザー治療の適応を判断するには、蛍光眼底造影検査が必須です。しかし造影剤で死亡を含む重篤な合併症が起きる危険があり、特に糖尿病や血圧が不良な方に多い傾向です。検査の必要性や副作用を説明すると共に、造影剤不使用で検査可能な施設(十勝管外です)をお伝えし、希望があれば紹介しております。

このように当科の守備範囲を考慮し、必要に応じて他院をお勧めする選択肢も提案、時には小生や親族に置き換えた意見も添えて、最終的には本人やご家族の意向を可能な限り尊重して診療に当たっています。

最後に私的な抱負ですが、スマホデビューを考えています。今はガラケーですが、子どもたちの卒業を機に簡単スマホから始める予定です。



コロナウイルス流行を経験した上での小児科診療

小児科診療部長 木田和宏

2019年から続いてきた新型コロナウイルス感染症も、町周辺では最近患者数が減り、国の方針もあって、皆さま「少し落ち着いてきたか」と感じられていることと思います。実際、診療を行っていて我々もそう思います。

しかし、コロナウイルスやインフルエンザウイルス、ノロウイルスといった流行しやすい感染症に対する基本の対応は、疑わしい人は取りあえず場所を分ける、なるべく早く診断する、です。そして、特に小児においては、不必要な登園登校の停止を防ぐことも重要です。2023年となって、コロナウイルスに対する扱いが変わったとしても、しばらく注意が必要となるのは間違いありません。

お子さんたちは完全な防護が難しいところがあり、かつては例えば「病院の待合でインフルエンザとノロウイルスの子が隣同士で待っている（そしてお互いに移し合う）」ということがありました。

ですので、現在は発熱などのある方は、あらかじめ連絡をいただき、診察までなるべく車の中などで待ってもらうなど、患者さん相互がなるべく接しない対応を継続しています。

このようにして、喘息やアトピー性皮膚炎、慢性便秘などの継続的にフォローすべき方と感染症の患者さんも、ある程度空間的に分けています。多少のご不便はおかけすることとなり、また、待合室をみて「小児科はいつも空いているなあ」と見えてしまうのが玉に傷ではありますが、なるべく皆さまにご安心して受診していただけるように配慮しています。

さらに、検査体制を整備して現在はインフルエンザとコロナウイルスは綿棒1本で検査できるようになり、結果の報告も早くなっています。これ以外の迅速検査ができる感染症についても、事前にご要望いただければなるべく同時に検査を行うように準備しています。

今年は、皆さまの関心の高いノロウイルスのPCR検査（自分の病院でPCR検査をしているところは十勝管内にはないと思います）を何とか開始できればというのが目標です。



新年度に寄せて

総看護師長 岡山有美子

真新しいランドセルを背に緊張した面持ちで横断歩道を渡る新一年生の姿を見て、春の訪れを感じながら「私も頑張らなくちゃ!」と元気と勇気をもらって通勤している毎日です。

春は出会いと別れの季節でもあり、町民の皆さまにおかれましても卒業や進入学、就職、転勤など、新生活をスタートされた方が多くおられると思います。当院でも、看護科体制づくりと発展に長年ご尽力くださった先輩たちが定年退職されました。これまでの功績に敬意と感謝の念を抱きつつ、当院の新たなチャレンジへの期待と責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。その一方で、新卒看護師5名をはじめとするフレッシュな仲間を迎え、心強さを感じております。

さて、この1年、私たち職員は病院経営改革を中心に、一人ひとりが各々の役割を果たそうと頑張ってきました。通常業務と並行しながらの長引くコロナ対応、システム更新など、多くの課題がありましたが、～できることから始めよう～をスローガンに多職種が声をかけ合い協力し合い、心をつなげて着実に成果を挙げてきました。

職員の意識・行動の変化を実感しており、この頼もしい仲間たちと同じ時を過ごし、改革に関われることを大変幸せに思っています。また、病院を支える会の皆さまをはじめ、町民の皆さまのご支援やご協力など、多くの方々にお支えいただいていることが、私たち職員が前進する原動力になっています。心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

今年度は、自律経営プロジェクトが本格的に始動します。当院の経営改革を全員の力で推し進めます。それと同時に医療・看護・介護の質向上を図ります。看護科としましては、これからは患者さまやご家族が大切にされている思いに、愛をもって寄り添った看護・介護を実践します。

住み慣れたこの芽室町で、ご自宅で、長く過ごすことができるよう、健診、外来、入院、訪問看護チームが地域や多職種と連携して、皆さまの「生きること」「暮らすこと」をお支えしたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

1本の綿棒でコロナ・インフルエンザ同時検査できます 🖱





改革の先陣を切る 診療技術科

診療技術科長 佐藤孝生

新年度を迎え、いよいよ新しい挑戦がスタートします。職員一人ひとりが病院経営を考える。

そのために始まった取り組みとして、1つ目は「部門別原価管理システム」の導入。簡単にいえば、各部署の家計簿管理です。収支バランスをどう整え維持していくのかについて部門ごとに話し合い考え、目標を立案し実行するシステムです。

2つ目は、「できることから始めよう! プロジェクト」自主参加のワーキンググループ活動。経営改善部会、業務改善部会、環境改善部会と3つの大きな部会からなり、それぞれのワーキンググループ(WG)をつくり個別に活動する組織で、全職員参加を目標としています。「部門別」「WG」とともに私の所属する診療技術科でも、他部門に乗り遅れることなく先陣を切る思いを持って進めていきたいと考えています。

診療技術科職員は(放射線係・検査係・透析係・リハビリテーション係・栄養係・眼科係)6部門、総勢40名の多職種で構成しています。近年の医療技術のめざましい進歩とともに、高度な医療技術を有する医療技術者の人材育成が必要とされています。

個々のスキルアップのための教育訓練や多職種間との連携を図るための情報共有や勉強会を積極的に取り入れ、専門知識・技術・能力の向上に努め、より安全で安心な質の高い医療技術を提供するとともに思いやりのある医療を心がけ、町民の皆さまから必要とされる病院となるよう職員一丸となり力を合わせ、協働し、職員皆のため、公立芽室病院のために努力し、そこで得た大きな力を町民の皆さまの健康・医療・介護・在宅を支える病院となるために発揮したいと思います。

診療技術科職員一同、公立芽室病院の発展、維持のために頑張ります。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

ワンコイン(500円)で健診が受けられます!
お気軽に窓口にご相談ください!



薬剤科の現状と今後

薬剤科長 森 寿哉

薬剤科では、4名の薬剤師が勤務しております。15年以上同じ薬剤師で入替りはありませんが今後、数年で順次入替りも見込まれている状況です。

現在、薬剤科では入院患者さまを中心に安全・安心な薬物療法を受けていただくため、電子カルテシステムと連動した調剤とともに、医薬品の管理、供給、情報提供、服薬指導、持参薬鑑別など医薬品の適正使用と適正管理を行っています。

外来関連では、調剤薬局さまからの処方疑義照会対応や後発医薬品の採用状況の情報交換など、特に芽室町内の調剤薬局さまとの連携を大事にしています。

また、休日は1名の日直体制をとり救急外来、入院調剤等に対応をしています。医師の業務軽減対策として、透析患者さまとけいせい苑入所者さまの定期外来処方の代行入力や、この約3年コロナ禍の特別措置として、電話対応による処方代行入力も行っています。

経営強化プラン関連では、この約5年間で後発医薬品使用率を25%から95%までに上昇させ、また薬剤師関連の診療報酬項目は診療情報管理士のアドバイスに従い、確実に算定をしています。喫緊の課題としては、無駄のない在庫管理システムの構築が必要となっています。

今後の薬剤科の抱負としては、在宅での患者さまも増加傾向にあるため、地域連携室や訪問看護ステーション、調剤薬局さま等と連携を深め病院薬剤師として求められることには積極的に貢献したいと考えています。

院内の様々なチーム医療の一員として役割をしっかりと果たし、薬剤師一人ひとりが自己研鑽を積み、常に向上心を持ち患者さまや他部門の皆さまから信頼され求められる「存在感のある薬剤師」を目標として努めてまいります。

最後になりますが、医療技術の高度化・医薬分野の発展に合わせて、薬剤師業務も多様化され、薬学部は4年制から6年制に移行となり、病院と調剤薬局の長期実務実習を履修し、さらに専門性を生かし認定資格等を取得した高度なスキルを持つ薬剤師が、今後は採用されていくことでしょう。



TOPICS

表紙の写真は令和5年度新卒採用看護師5名です。

3/11 支える会主催の地域医療講演会で当院職員5人が登壇 「公立芽室病院は『最期まで自宅で過ごしたい』にどう応えているか」



公立芽室病院をみんなで支える会(鳥本ヒサ子会長・個人180人、9法人)主催の地域医療講演会「公立芽室病院は『最期まで自宅で過ごしたい』にどう応えているか」がめむろ駅前プラザで開催され、当院職員5名が講師として登壇しました。

講演会では、2家族が「在宅医療を経験して」、田島真美・鎌田亜紀看護師から「在宅医療に向けた入院中の準備について」、大沼崇理学療法士から「訪問リハビリに

ついて」、澁谷理恵医療ソーシャルワーカーから「在宅療養における地域連携室の役割」、三上真紀子副総看護師長から「ご本人とご家族が安心できる在宅療養」講演しました。

町民約150名が来場。地域包括ケアシステムの中核となる医療機関として、当院の具体的な取組内容をお伝えし、当院の役割を再認識する機会となりました。

退職にあたってのごあいさつ

総合診療科
松田卓也医長



令和2年4月に赴任してからあっという間に3年が過ぎました。顔馴染みの患者さんが増え、地域のかかりつけ医として貢献できる喜びを実感しているところでしたが、この春に家庭の事情で道北の名寄市に転居することになりました。これまで私を支えてくださった全ての病院職員の皆さま、支える会の皆さま、関わった患者さまとそのご家族さまに心から感謝申し上げます。

振り返ると、私が赴任した令和2年以前から当院は変革の最中にありました。急性期中心から慢性期・回復期へのシフト、それに向けた病床再編・在宅医療の拡充など、いずれにおいても総合診療科に期待される役割は大きなものがあつたと自覚しています。特に在宅医療に関しては、この3年間で訪問診療件数、在宅看取り件数を順調に伸ばすことができました。これらは全て地域連携室、院内訪問看護ステーションの協力があつたからこそその成果です。

このタイミングで病院を離れることは残念でありませんが、すでに院内各所で動き始めた改革の歯車は、近い将来大きな力となって当院の存在価値を高めてくれるでしょう。機会があれば、またその仲間に加わりたいです。これからもずっと応援しています。

すこやか健診・特定健診のご案内

”いつまでも健康に過ごしたい”

健康な時は気づかなくても、体調を崩すと「健康」に過ごせる幸せを感じる方も多いと思います。

健診で目に見えない体の変化を確認し、病気の芽を早期に発見できれば、健康寿命を延ばすことにつながります。いつまでも健康に過ごすためにも、年に1回、健康診断を受けましょう♪

*** 健康診断メニュー ***

すこやか健診(人間ドック)

【料金】 7,320円～ ※料金は加入保険により異なります

例えば40～74歳の芽室町国保はじめて割なら5,320円

【内容】 ・胃がん検診(胃カメラor胃バリウム)

・肺がん検診(レントゲン検査)

・大腸がん検診(便潜血検査)

・腹部エコー検査

・視力・聴力検査

■ 血液検査(29項目)

■ 心電図検査

★ 眼底検査

■ 診察

■ 血圧測定

■ 尿検査



はじめて割

2000円割引

※ 当院で初めて「すこやか健診」を受ける方

今年度

40歳, 50歳, 60歳になる女性

骨粗しょう症検診 無料



特定健診

料金: 1,000円(40歳～芽室町国保の方)

※ 料金は加入保険により異なります

内容: 左記 ■ ★ マーク項目

※ 但し血液検査7～15項目

後期高齢者基本健診

料金: 500円(芽室町後期高齢者の方)

内容: 左記 ■ マーク, 血液検査13項目

【ご予約・お問い合わせ先】

公立芽室病院 健診センター
62-2811(内線234)

受付時間: 10:00～16:00まで

こんにちは Wa! 看護科 です!

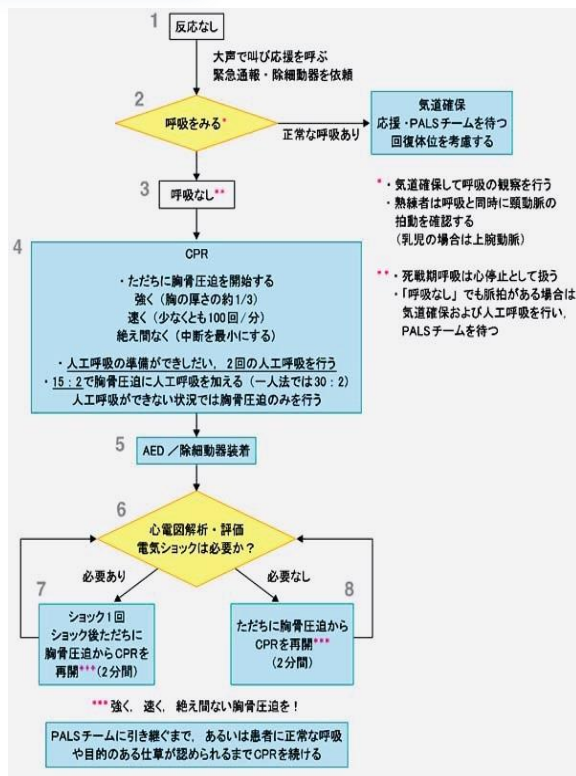
病棟看護師の黒一点！ 看護師 青野慎也

昨年10月1日から当院看護科でお世話になっております。よく「先生」と間違われることがありますが、男性看護師です。何か特別なわけではなく仕事内容は女性看護師と同じです。抵抗のある方も多く知名度もまだまだだと痛感しておりますが、男性看護師に見慣れていただければと思っています。



さて、突然ですが、目の前で心肺停止の方を発見した際に皆さんはどうされますか。誰もが驚くと思いますがきっと「助けたい・何かしてあげたい」と思われるのでは？それが家族なら尚更でしょう。救急車が来るまでに何かできることは？心臓マッサージやAEDという言葉を目にしたことがあると思います。年に数回ですが、医療関係者や救急隊員向けにICLSという急変時対応のインストラクターを務めていることから、技術・知識の取得ができるようお手伝いさせていただいております。

新卒看護師のようなフレッシュさはありませんが、今まで培った経験を生かし「町民・地域住民の住み慣れた地域で暮らし続ける」を支えられるよう専門職として自己研さんを重ねつつ、看護科の一員として責任を全うさせていただきます。今後ともよろしく願いいたします。



栄養士の Vol.4 病院食おススメ一品

ロールチキンのワイン焼煮



【作り方】

- ①鶏もも肉は、肉たたき等を使い、肉の厚い所をならす。
- ②肉に塩、こしょうをなじませて端からくるくる巻き、たこ糸で縛る。
- ③フライパンに入れ転がしながら表面に焼き色を付ける。
- ④鍋にAを入れて軽くひと煮立ちさせから、肉を入れ落し蓋をして煮る。途中、上下を返す。
- ⑤粗熱が取れたら食べやすい厚さに切る。
- ⑥レタス、パプリカ、オレンジは食べやすい大きさにカットして付け合わせにする。

【作りやすい分量で表示】

【材料／3人分】

・若鶏モモ肉大	1枚
・塩	1g
・コショウ	少々
・白ワイン	50g
・砂糖	8g
・醤油	15g
・酒	25g
・水	40g

（付け合わせ）

・レタス	60g
・パプリカオレンジ	30g
・青しそドレッシング	15g

【おすすめポイント】

肉が柔らかく、食べやすい一品 ♪

肉類の中でも使い勝手の良い鶏肉。注目の栄養素は「たんぱく質」です。たんぱく質は身体のあらゆる組織を産生するのに欠かせません。皮膚、爪、髪、筋肉に必要な良質のたんぱく質が含まれています。丈夫な身体の維持のためにもお勧めです。購入のポイントは、ピンク色で透明感があり、ツヤのあるもの。ピンク色で透明感があり、ツヤのあるもの。皮の毛穴がブツブツと盛り上がり皮自体も細かくひだりが寄っているものが新鮮です。

エネルギー
144kcl

たんぱく質
10.6g

塩分
1.2g

皆さまの「かかりつけ病院・かかりつけ医」として

受付時間 【午前】 7時45分～11時30分 【午後】 0時30分～4時30分

診療時間 【午前】 8時45分～ 0時30分 【午後】 1時30分～5時15分

公立芽室病院・外来診療のご案内

※ 整形外科の診療時間は 2時30分～5時15分
※ 土曜日、日曜日、祝祭日、夜間の救急診療を受け付けます。
※ 8/15も診療を行います。

【 総合診療科 】

田中副院長 / 酒井診療部長 / 高橋診療部長 / 和田医長 / 相馬医長 / 亀田医長

		月	火	水	木	金
午前	第1診察室	田 中	田 中	田 中	和 田	高 橋
	第2診察室	酒 井	和 田	酒 井	相 馬	和 田
	第3診察室	高 橋	酒 井	和 田	亀 田	亀 田
	第4診察室	亀 田	相 馬			酒 井
	内視鏡検査等	相 馬	高 橋	相 馬	高 橋	田 中
午後	第1診察室	和 田	高 橋	亀 田	酒 井	相 馬
	内視鏡検査等	相 馬	相 馬	相 馬	田 中	

※救急患者の受入れ等により、診察までお待たせすることがあります。

【 小 児 科 】



木田診療部長

	月	火	水	木	金
午 前	○	○	○	○	○
午 後	○	※ 乳幼児健診	※ 慢性外来	※ 予防接種	○

※予防接種受付時間 木曜日 午後2時～午後2時30分

※予防接種は予約制です。事前に医事係へお申し込み願います。

・BCG(祝日を除く第1木曜日)※単独接種ですが特段の事情により他と同時接種を希望される場合はご相談ください。

・Hib、肺炎球菌、小児B型肝炎、四種混合、麻しん風しん、水ぼうそう、おたふくかぜ、日本脳炎、二種混合(祝日を除く第2～5木曜日)

・子宮頸がんワクチンは一般診療の時間内で対応いたします。

※火曜日午後は町の乳幼児健診を【あいあい21】で行うため小児科医不在の時間があります。

一般診療をご希望の場合は予約制となりますのでご相談ください。

※水曜午後の慢性外来は予約制となります。

※木曜午後は予防接種外来となります。一般診療の対応につきましてはご相談ください。

【 整形外科 】



研谷院長



幅口診療部長

		月	火	水	木	金
午前	第1診察室	※ 研 谷	研 谷	研 谷	研 谷	幅 口
	第2診察室	幅 口	幅 口		幅 口	
午後 14:30 - 17:15	第1診察室	休診(検査日)	研 谷	休診(手術日)	研 谷	幅 口
	第2診察室		幅 口			

※乳幼児股関節脱きゆう検診・骨粗しょう症検診は、診療時間内に随時行っています。

※月曜日午前中は、研谷院長が不在の場合もありますのでお問い合わせ願います。

【 眼 科 】



大西診療部長

	月	火	水	木	金
午 前	○	○	○	○	○
午 後	休診(検査日)	休診(手術・検査日)	○	休診(検査日)	○

※月曜日・火曜日・木曜日の午後は、検査や手術を行っていますが、診察可能な場合がありますので、眼科外来までお問い合わせ願います。

※金曜日の午後は、産業医としての外勤がありますので15時からの診療となります。

【 耳鼻咽喉科 】

出張医師(旭川医大／北斗病院)

	月	火	水	木	金
午 前	○	○	休 診	○	○
午 後	○	休 診	休 診	休 診	休 診

※木曜と金曜は9時15分から診察開始になります。

※詳しい出張医師名については、院内掲示・ホームページをご覧ください。